

番号	評価項目	具体的数値目標	自己評価				現在の状況(成果と課題)	学校評価委員からのコメント	評定
			児童	保護者	教師	全体			
① 学習指導	1 分かりやすい授業が実践されている。(短く分かりやす話し方、ICTの活用、活用力の重視、家庭との連携)	児童・保護者アンケートで「授業は分かりやすい」と答えた割合が80%以上	3.6	3.1	3.0	3	<p>○分かりやすい授業や児童の意欲的な授業への参加については、4段階の評価では昨年度と変わらない結果が出ているが、細かく見ると保護者と教師評価が指導の評価を下回っていた。今後、学ぶことの大切さについて児童に考えさせたり、4つのチェックポイントを重視した指導方法の工夫改善を図っていくなど授業力の向上が望まれるところである。</p> <p>○家庭学習の習慣については2極化の傾向がみられ、特に保護者の評価は、児童・教師と0.5ポイントの開きがあった。家庭学習は、学習内容を確かなものにする上で不可欠なものである。家庭との連携を図った取組について検討し、工夫改善を図っていく必要がある。</p> <p>○読書活動については、読み聞かせボランティアの方々による朝昼の読み聞かせや図書委員会による昼休みの図書貸出、秋の図書館祭りの啓発活動など様々な取組を行うことができた。ただ、児童アンケートでは読書に積極的に取り組んでいる児童の割合は3.0を下回っており、決して高いとは言えない。今後も読書活動の推進を張っていくように、学校図書司書との連携を密にし、児童の読書意欲を喚起する取組や工夫を図っていく必要がある。</p> <p>○地域との連携については、各学年で地域人材の活用や生活科・くしま学、夏休み期間に実施したサマー学習など地域に密接した学習を展開した。ただ、保護者の意見の中には「サマー学習の回数や時間が短いなど。」などの意見も出された。今後も連携の在り方を工夫していくと共に、連携の様子についての情報発信にも力を入れていきたい。</p>	3.3	
	2 授業中の児童は、積極的に発表するなど意欲的に取り組んでいる。	児童・保護者アンケートで「意欲的に学習に取り組んでいる」と答えた割合が児童・保護者ともに80%以上	2.8	2.9	3.0				
	3 読み、書き、計算などの基礎学力が身に付いている。	児童・保護者アンケートで「読み、書き、計算などの基礎学力が身に付いている」と答えた割合が80%以上	3.3	2.9	2.9				
	4 家庭学習の習慣が身に付いている。(決まった時間以上学習することができる。)	児童・保護者アンケートで「家庭学習の習慣が身に付いている」と答えた割合が80%以上	3.3	2.7	3.2				
	5 読書活動が充実している。(朝の読書、読み聞かせ、うち読〜ノーマディア、学校図書館利用)	児童アンケートで「よく読書をしている」と肯定的に答えた割合が80%以上	2.8		2.8				
	6 生き物や植物を大切にしている。(道徳、生活科・理科、飼育・栽培 等)	児童・保護者アンケートで「生き物を大切にしている」と答えた割合が80%以上	3.4	3.0	2.6				
	7 地域との連携を図っている。(ふれあい参観日、くしま学ウオークラリー、宿泊学習 等)	児童・保護者アンケートで「地域の行事に積極的に参加している」と答えた割合が80%以上	3.0	3.1	2.9				
② 生活指導	8 いつも「福島小 当たり前のこと3か条」を意識させて学校生活を送らせている。	児童・保護者アンケートで「当たり前のこと3か条を守れている」の割合が児童80%以上、保護者70%以上	3.1	2.8	2.9	3	<p>○「当たり前のこと3か条(あいさつ、言葉づかい、ろうか歩行)」については、実態を見るとまだまだ十分であるとは言えない。さらに3か条の徹底が図られるよう指導の工夫・改善を図っていききたい。</p> <p>○自分の子どもがきまりやマナーを守れていると答えた児童と保護者・教員の評価には違いがみられる。ギャップの解消に向け、規範意識の育成に向け、家庭との連携や道徳教育・キャリア教育の充実等、総合的な取組の工夫・改善を図っていく必要がある。</p> <p>○清掃については、お掃除名人を賞賛する等の取組など自主的・自発的な清掃清掃活動の充実を図っているが、その一方で学級内での整理整頓が十分でないなど課題も見られる。下校時の持ち帰り指導や記名指導の徹底など、家庭との連携も図りながら継続していく必要がある。</p>	3.3	
	9 児童理解に努めている。	児童・保護者アンケートで「学校は楽しい」「相談にのってくれる」に関する項目で良好な割合が80%以上	3.5	3.3	3.5				
	10 児童は「福島小よい子の一日」や社会のきまりやマナーを守っている。	児童・保護者アンケートで「きまりやマナーを守っている」と答えた割合が85%以上	3.3	3.0	2.8				
	11 児童は思いやりの心をもって友達に接している。	児童・保護者アンケートで「思いやりの心をもって接している」と答えた割合が85%以上	3.4	3.1	3.1				
	12 児童は清掃活動に積極的に参加している。	児童・保護者アンケートで「そうじや整理整頓に進んで取り組んでいる」と答えた割合が児童80%以上、保護者60%以上	3.3	2.5	3.1				
③ 保健安全指導	13 児童の主体的な取組を促す手立てを明確にした体育的行事を計画する。	児童・保護者アンケートで「体育的行事」に関する項目で良好な割合が80%以上	3.6	3.2	3.4	3	<p>○運動会では、児童が競技・演技に、そして高学年児童はそれぞれの係に意欲的に取り組む姿が見られ、素晴らしい運動会を行うことができた。</p> <p>○早寝・早起き・朝ごはん等、基本的な生活習慣に関するアンケート項目では、保護者の肯定的な評価が約7割であった。今後も学校と家庭が連携して、基本的な生活習慣の定着が図られるよう取組を工夫し、意識の向上を図っていく必要がある。</p> <p>○保護者の意見の中には、大規模災害の訓練実施や訓練の実施回数が少ないなどの意見があった。今後、児童の保護者への引き渡し方法等を含めた具体的な動きを検討し、教室内だけでできる避難訓練など検討していきたい。</p>	3.4	
	14 家庭との連携の中で食育の推進を図っている。	児童・保護者アンケートで「食育」に関する項目で良好な割合が90%以上	3.3	3.1	2.7				
	15 早ね・早起き・朝ごはん定着の呼びかけを行い、手洗いがいなどの基本的な生活習慣の定着を図っている。	児童・保護者アンケートで基本的な生活習慣に関する項目で良好な割合が90%以上	3.2	2.9	2.9				
	16 児童の危機意識を高め、迅速かつ安全に行動する避難訓練を実施している。	児童・保護者アンケートで「危機意識」に関する項目で良好な割合が90%以上	3.4	3.1	3.5				
④ 学校運営全般	17 保護者が学校の様子を参観しやすい環境を作っている。(一時預かり等)	保護者アンケートで「参観しやすい環境をつくっている」と答えた割合が90%以上		3.2	3.4	3	<p>○参観日の設定の仕方については、毎年改善を望む声が寄せられている。保護者も様々な立場の方がいらっしゃるため、この方法なら全員が納得というものはないが、児童の学習等の様子を見てもらい、家庭との連携を図っていくという参観日の大きなねらいが達成できるよう計画していきたい。</p> <p>○いじめのない学校づくりについては、日頃から児童生徒の行動の様子を把握したり、定期的なアンケート調査を行ったりしながら未然防止に努めてきた。また、いじめは起こり得るという認識のもと、もしいじめが起きてしまった場合にも深刻な事態に陥らないよう個々の事案についてケース会を開くなど、組織的にまた迅速かつ誠実に対応することができた。</p>	3.7	
	18 学校便りやホームページ等で学校の情報を紹介している。	保護者アンケートで「地域へ教育活動の啓発をしている」と答えた割合が90%以上		3.1	3.0				
	19 PTAの協力を得るなどして環境美化に努めている。	保護者アンケートで「環境美化に努めている」と答えた割合が95%以上		3.2	3.2				
	20 いじめのない学校を目指して努力している。	保護者アンケートで「いじめ」に関する項目で良好な割合が85%以上、児童アンケートで90%以上	3.5	2.9	3.5				

※ 児童・保護者の評価は、アンケート結果をもとに数値目標と照らし合わせて付けたものです。